



第35回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」
in 長野県松本市



Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 7日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 7日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

● 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

フードロス問題や地方創生に興味関心のある学生が日本全国の地域・農家へインターンとして訪れ、作物の収穫支援や現地での交流を通して一次産業や地域経済の活性化について考える取り組みです。

参加学生の旅費・交通費や現地での滞在費、食費等は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために設立した「**クラダシ基金**」から支援しています。

クラダシチャレンジ実施の目的

活動中：収穫したものをKuradashiのサイト上で販売することで、新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生が現地を訪れることで町に活気をもたらし、地域の魅力をSNS等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。

活動後：学生が自治体や農家の方1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。

01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

地域経済の活性化と社会発展に寄与するために
設立された支援金制度「クラダシ基金」



地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・
食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられます。

クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」上における支援先の1つです。

地域創生事業やフードバンク支援事業、教育事業、食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に活用しています。

クラチャレの運営費も、本基金から拠出されています。

▼参考URL

クラダシ基金について

: <https://www.kuradashi.jp/fund>

● 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

第35回 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 長野県松本市

- 活動内容：
 - ①リンゴの収穫・選別・箱詰め作業
 - ②現地の方との意見交換
 - ③現地観光
 - ④SNS等を利用した地方の魅力発信
- 開催期間：2023年11月13日～11月19日
- 参加人数：3人
- 実施企業：株式会社クラダシ（クラダシ基金にて運営）

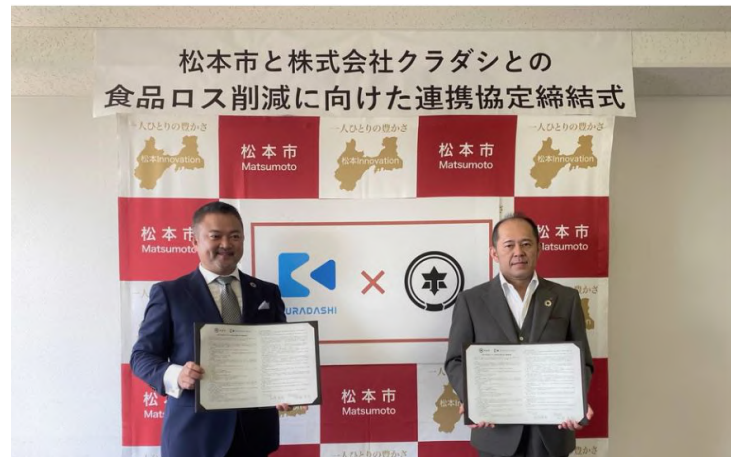
01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

【松本市とは】



松本市は、長野県の中信地方に位置する市で、北アルプスや美ヶ原光源など豊かな自然であふれている場所です。国宝「松本城」の城下町としても有名です。リンゴはもちろん、わさび漬、蕎麦など多様な特産品があります。

【開催の背景】



クラダシは2021年に長野県松本市と、「[食品ロス削減に向けた連携協定](#)」を締結。その締結をきっかけにクラチャレを実施する運びとなりました。

● 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

第35回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in長野県松本市の目的

①地域や一次産業の活性化

長野県松本市は、北アルプスや美ヶ原高原など豊かな自然で溢れている場所です。リンゴ、わさび漬、蕎麦など多様な特産品があります。しかし、人口減少や高齢化に伴う労働力不足、若年人口減少などが懸念されています。クラダシチャレンジを通して学生が作業を手伝い、収穫したものをKuradashiで販売することで農家さんの新たな収入を生み出すほか、松本市や松本市の特産物のPR方法を考案し、魅力を広めたりすることで、松本市の関係人口増加に貢献します。

②松本市の関係人口増加に貢献、若者を呼び地域振興に

このクラチャレでは、現地の方々を収穫作業を通じた交流、また松本市の地域の方と意見交換できるのも魅力のひとつ。活動を通して、収穫作業そのものや、その地域に価値を見出す学生がたくさんいます。そうした体験や交流を通して松本市の魅力を学生がを見つけ、SNSを通じてその魅力を発信することで、認知拡大や地域の関係人口の増加を図ります。

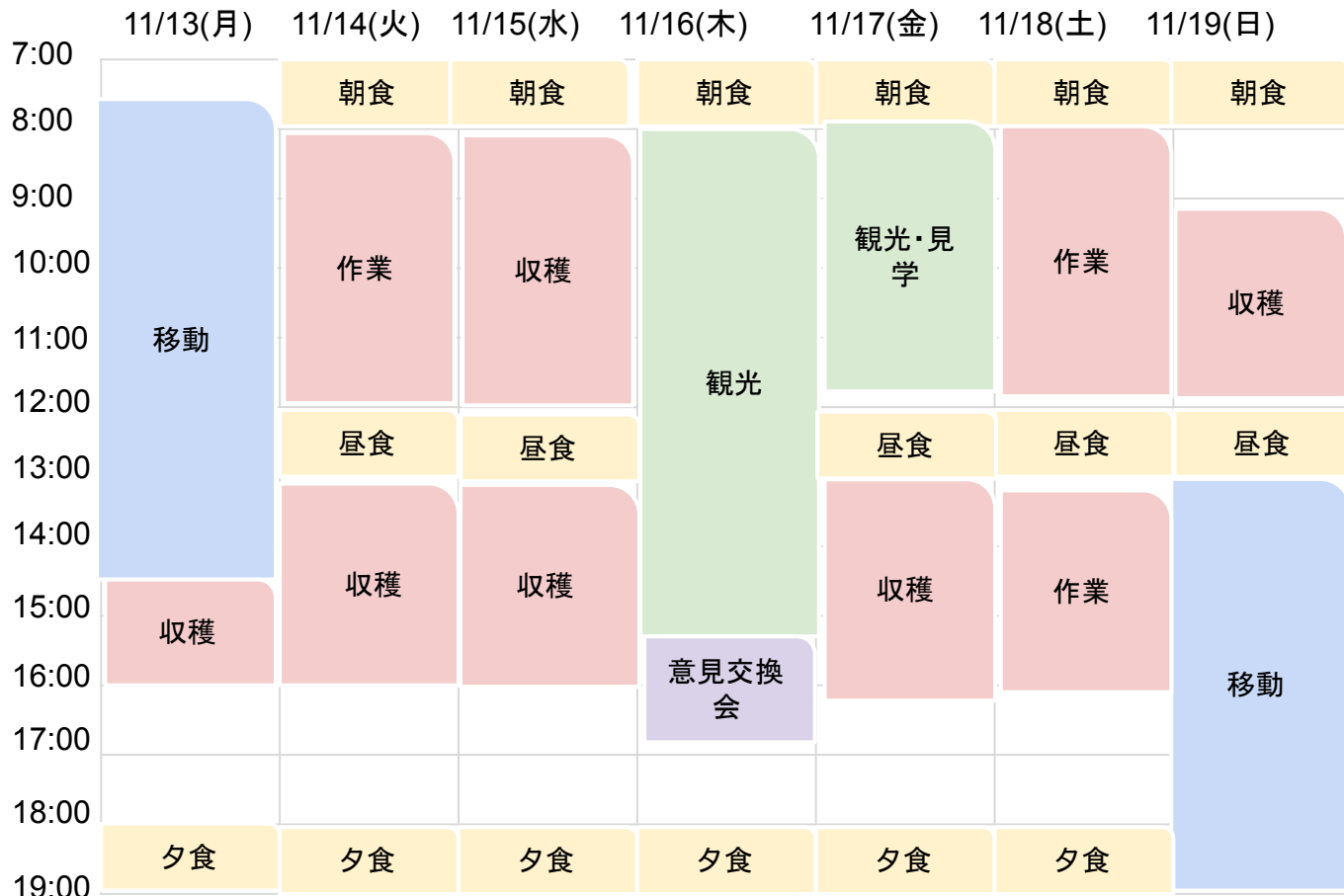
③地域の特産品の購買促進に

松本市には、魅力的な特産品がたくさんあります。中には、とっても美味しいのに、市場での知名度があまり高くないものも存在します。そこで、クラチャレの活動や特産品をSNSなどでPRすることで、購買促進を図ります。

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
- 02. 7日間のスケジュール**
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

02. 7日間のスケジュール



Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 7日間のスケジュール
- 03. 活動報告**
04. 参加者の声
05. 事後報告会

03. 活動報告：リンゴの収穫・選別・箱詰め作業

リンゴの収穫・選別・箱詰め作業、全て手作業で行いました。低い位置のものはしゃがんで、高い位置のものは脚立に乗って収穫しました。

傷もの、日焼けなど、いわゆるきれいな状態でないものがとても多いことが衝撃的でした。

農協に出荷する際にも毎年厳しい基準があり、もぐのみに失敗するだけでランクがひとつ下がってしまいます。へたの根本が割れた、「ツル割れ」と呼ばれる状態のリンゴをクラダシに出品しました。



03. 活動報告：意見交換会

松本市農政課、環境・エネルギー課の方々とは意見交換会を行い、クラチャレの活動内容や松本市の課題についてお話しさせていただきました。

大学での勉強などを通して農業に対する基本的な知識は比較的もっているほうだと感じていましたが、実際に作業をしたり、市役所の職員の方々とは意見交換したりすることで、農業の課題や現状に関する理解度が格段に上がったと感じました。

また、地域の課題や行政の取り組みについて深く理解できたと同時に、さまざまな支援制度を充実させても、なかなか人が来ないという現実があることもお聞きし、松本市との人々の最初の接点づくりが重要だと感じました。



03. 活動報告：観光

松本城下の歴史的な町並みを中心に、松本駅周辺には商業施設や博物館などが歩ける範囲に集まっています。

カフェや飲食店も多く、学生など若い人でにぎわっていました。農村部との差は大きいですが、このようなハブがあることは松本市の魅力だと感じています。



Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 7日間のスケジュール
03. 活動報告
- 04. 参加者の声**
05. 事後報告会

04. 参加者の声①

生活と切り離せない「農業」の重要性

自分が農業が盛んな地域の出身であることに加え、大学での勉強、取材執筆の活動を通して農業に対する基本的な知識は比較的持っているほうだと思っています。ですが、実際に作業をすること、長く時間を取って農家の方とお話することはほとんどなかったため、クラチャレの経験を通して農業に対する解像度があがったと感じました。松本市は地元に似た風景も多く、とても魅力的な地域だなと思いました。

意見交換会を通して、自治体の情報発信が課題だと感じました。私は食や農業に関する話をとても面白いと思いますし、自分で調べることも多いですが、もちろんそうではない人もいます。しかし、誰にとっても食、ひいてはその生産である農業は切り離せない問題です。多くの人に食に関する話題を身近に思ってもらえるように、情報発信に取り組みたいです。



【東北大学3年 深田歩】

04. 参加者の声②

松本市から得た学びについて

クラチャレ参加前は、果物の収穫や農業に対する理解が薄かったと気づかされました。廃棄される林檎もあることは知ってましたが、ほとんどは出荷されれていると勝手に思っていました。実際にリンゴ収穫に参加することで、農業の大変さやその重要性に気づくことができました。正規品にならないリンゴの量も三分の一と想像していたよりずっと多く驚きました。

また、松本市職員の方々との意見交換会を通して、行政の仕組みや課題についての理解が不足していたと実感しました。市役所関係者の方々との対話を通じて、地域の課題や行政の取り組みについて深く理解することができました。

特に支援が手厚いのに人がこないというところが印象に残りました。地域の発展に向けて、市民と行政が連携する重要性を認識させられました。



【N高等学校2年 芝田悟】

04. 参加者の声③

地方が抱える問題を若い世代が知って動く

いつも朝、手軽に食べているリンゴ。どのように栽培されているのかを自分で知りたく、クラチャレへの参加を決めました。森田ファームさんにはとてもよくしてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。

品質の高いリンゴを消費者に届けたいというこだわりや最先端の農業システムなどについて知ることができ、貴重な学びの機会となりました。

後継者や人手不足に関する問題について帰宅後、友人や家族とも話しをしました。福島、淡路島、佐賀、白川郷、地元の石川県白山市など、今年一年、地方を旅しています。自治体、団体、僕たち若い世代が知恵を出し合い、問題を解決したいと感じました。松本、そして森田ファームさん、またぜひ訪れたいと考えています。



【N高等学校3年 南幸】

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 7日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
- 05. 事後報告会**

05. 事後報告会

第34回/35回/36回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 長野県松本市、茨城県かすみがうら市、愛媛県宇和島市のクラチャレ参加者による合同事後報告会を行いました。

■日時：2023年12月26日 13:00-15:00

■場所：クラダシオフィス・オンライン配信

■参加者：「クラダシチャレンジ in 茨城県かすみがうら市」参加学生
「クラダシチャレンジ in 長野県松本市」参加学生
「クラダシチャレンジ in 愛媛県宇和島市」参加学生
かすみがうら市の方々
松本市
宇和島市の方々
クラダシ社員



■目的：参加した学生が、現地の方との交流・収穫支援の活動を通して見出した課題への解決策を提案する。

● クラダシについて

社名

株式会社クラダシ

設立

2014年7月

所在地

東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

代表者

代表取締役社長 関藤 竜也

事業内容

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営

URL

<https://www.kuradashi.jp/> (ショッピングサイト)

<https://corp.kuradashi.jp/> (会社HP)

株式会社クラダシは、松本市以外の自治体でも支援を引き続き行なってまいります。

ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

次のページから、
事後報告会で学生が発表したスライドを紹介します！

課題発見・解決策立案

現地で感じた印象・現地の声

①後継者がいない、人が来ない

- ・多くの農家さんが家族農業で、後継者がいない、人手不足という問題を抱えている
- 松本の住みやすさや魅力を伝えれば、より人を呼び込めるのではないだろうか？

②では、今ある魅力の伝え方は？

- ・「のるーと松本」せっかくあるデマンドバスを利用している人がとても少ない
- 意見交換会でもそのために具体的な策を講じているわけでもなさそう
- ・森田さん「インスタとかやってないけどやったほうがいいんだろな」

情報発信に、より工夫が必要

- ・媒体
- ・誰から誰へ？

充実した、紙媒体での情報発信を支えたい



- ・働きやすさ、住みやすさ、最新システムなどの周知が行政主体で、様々な形で行われている
- ・紙へのアクセスの悪さ（松本に来たらこれらを見せることができる。でも、松本に来てもらうには…？）

解決策

SNS発信の強化と、運営団体の結成

- ・松本の外の若者からアクセスしやすい
- ・取り組みやすい
- ・グルメにとどまらず、観光や移住に関する情報など、魅力を幅広く発信して、**仮想の「松本の玄関口」**となる存在に

学生主体のコミュニティ

- ・学生がフォローしてくれる
- ・SNSに馴染みのない人たちからのハードルを下げる
- ・全国規模でこういうのできたらなあ…

解決策

SNS発信の強化と、運営団体の結成



←秋保温泉旅館組合
「AKIU NEWS」

COLORWeb学生編集部
(運営：ユーメディア) →

